

高知県物部川地域における地域商社機能の構築と農業の担い手育成を両輪とした
『未来の地域農業モデル』に関する連携協定の締結について

株式会社地域経済活性化支援機構(以下「機構」という)は、本日、高知県物部川地域の果樹生産者、株式会社ものべみらい(以下「ものべみらい」という)、高知県農業協同組合(以下「JA高知県」という)、香南市、井上石灰工業株式会社(以下「井上石灰工業」という)、株式会社四国銀行(以下「四国銀行」という)との間で、『未来の地域農業モデル』構築に向けた包括的連携協定書(以下「本協定」という)を締結しましたので、お知らせいたします。

本協定は、2015年10月に機構と四国銀行などが設立した「高知県観光活性化投資事業有限責任組合」(以下「ファンド」という)における、「観光」と「6次産業化」を軸とした面的活性化のパイロット地域である高知県物部川地域の「山北エリア」において、農業分野で顕著な「高齢化による生産人口の減少」、「所得の伸び悩み」などの社会的課題を、地域の官民が一体になって解決することを目的としています。

山北エリアのみならず日本の地域農業の現場では、①従来の多層的流通構造のため消費者の声が生産者に届きにくく、創意工夫をして消費者ニーズを満たそうとする商品開発を促す環境が醸成されてこなかった、②生産技術が平準化されておらず生産ノウハウの伝承体制が整っていない、③天災等の影響に晒されることにより製品の質・量の変動が大きく収入が安定しない、などの理由から、生産人口の減少を埋め得るインセンティブが希薄で新規就農者数が伸び悩んでいる、という現状にあります。

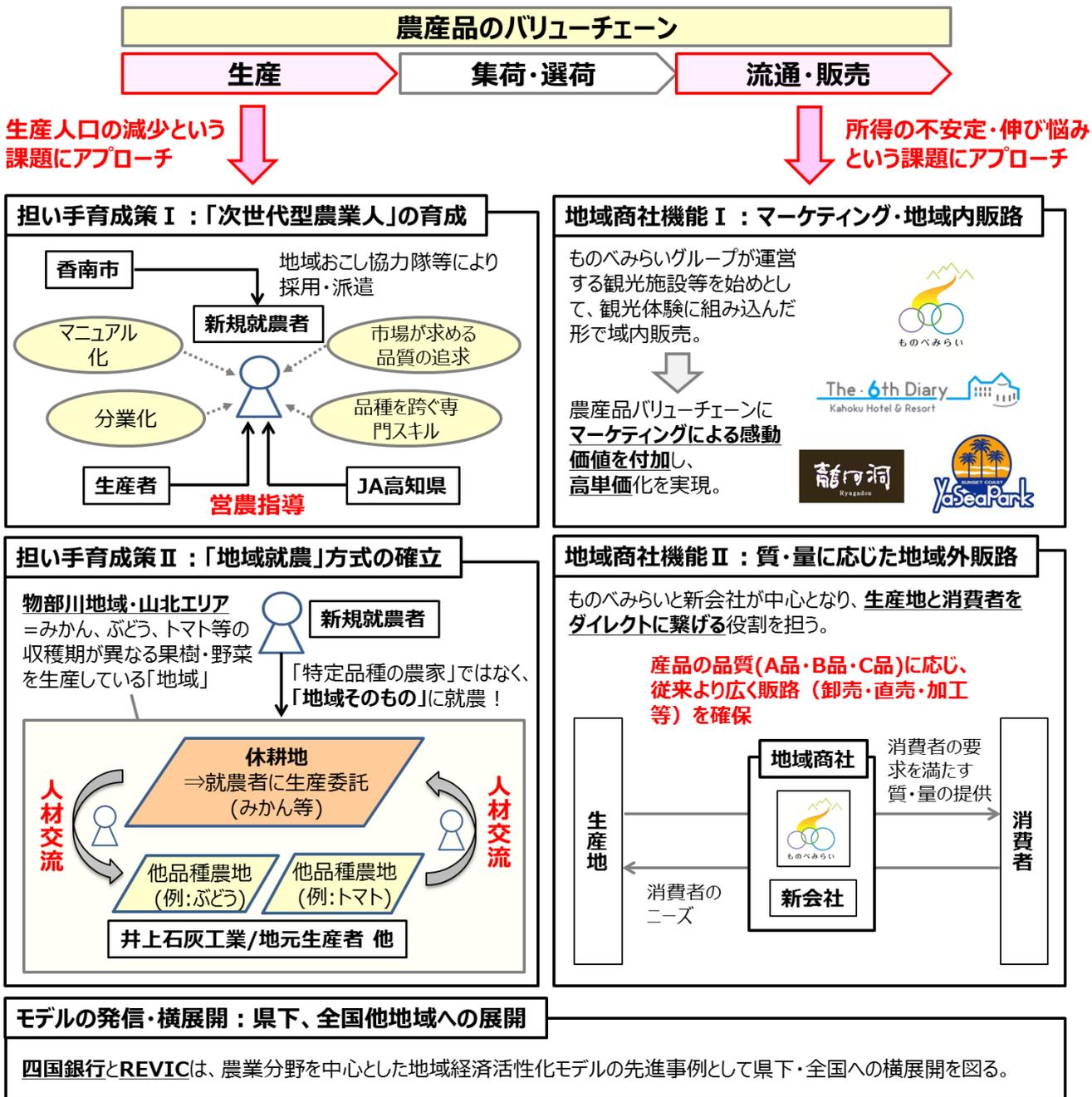
今般、機構は山北エリアにおいて、このような農業の課題を解決すべく、機構が培ってきた多様なステークホルダーを束ねる地域マネジメントノウハウや、企業体・事業の設計・運営ノウハウ、ファンド投資先のものべみらいのマーケティングや販売機能を活用し、『未来の地域農業モデル』を地域の官民関係者に提案、本協定締結に至りました。今後、連携協定に基づき、機構及びものべみらいはこのモデルを実現する新会社の設立を支援してまいります。

本協定の締結者の主な役割は以下の通りです。

生産者	・生產品・加工品の販売・卸売を主業務とする新会社への参画 ・新規就農者の営農指導及び作業協力
ものべみらい	・新会社の立上げ推進・支援 ・生產品・加工品の販売に関するマーケティング、商品企画
JA高知県	・新規就農者の営農指導 ・生鮮品の集荷・選果・出荷作業一式
香南市	・地域おこし協力隊の採用・管理・就農派遣
井上石灰工業	・農作業人材の相互交流、販売相互協力
四国銀行	・本協定によるモデル推進の支援と県下横展開促進 ・本協定による取組みの財政面を中心とした支援
機構	・本協定によるモデルを県内他地域や全国にノウハウ移転促進

今後、機構は、今回のモデルケースを全国に横展開すべく、ファンド投資や特定専門家派遣等の取組みを通じて、地域金融機関等へのノウハウ移転を進めてまいります。

「未来の地域農業モデル」を官民一体で推進！



■ 山北エリアについて

山北エリアは、高知県の中東部に位置する物部川地域に所在し、果樹・野菜等の露地栽培や園芸農業が盛んな地域。ここで収穫される「山北みかん」が有名。



【ものべみらいの概要】

社名	株式会社ものべみらい
所在地	高知県南国市大桶甲
代表取締役	古川 陽一郎（機構からの派遣）
事業内容	（高知県観光活性化ファンドが 2016 年9月 12 日に投資実行し、設立） ・物部川流域に所在する観光及び生産・加工事業者に対する投資、経営支援 ・地域産品・加工品のマーケティング・企画・販売・卸売 ・事業者や団体に対するマーケティング等の集客ソリューションの提供

【高知県観光活性化ファンドの概要】

<http://www.revic.co.jp/business/fund/26.html> 詳細は機構ホームページをご参照ください。

<お問い合わせ先・ご相談の連絡先>

株式会社地域経済活性化支援機構

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階

代表:TEL 03-6266-0310 地域活性化支援部: TEL 03-6266-0590